

石川厚子議員の一般質問 コミュニティスクールの導入は慎重に

第4回定例会市議会で石川厚子議員は、コミュニティスクールを取り上げました。

コミュニティスクールとは、小中連携・一貫教育の取り組みをベースに、学校と地域住民・保護者が、学校の運営や必要な支援について話し合う仕組みである「学校運営協議会」を設置している学校です。

旭川市内では、昨年度にモデル地区8校で導入し、今年度は49校、来年度はすべての小中学校でコミュニティスクールの取り組み

を実施する予定です。しかし、昨年度から実施したばかりで、その検証もまだ行われていません。

旭川市は「小・中学校適正配置計画」に基づき、通学区の見直しにも取り組んでいます。計画通りに進んでいません。一つの小学校から複数の中学校に分かれて進学する子ども達もいて「9年間を見通した系統的・計画的な教育活動」というコミュニティスクールのメリットが受けられるのか疑問です。

石川議員は、適正配置の観点からみてもコミュニティスクールを全小中学校に導入するのは、次期尚早ではないかと質し、黒蔵教育長は、まずは、学校と地域とでコミュニティスクールへの理解を深め『急ぐことなく』取り組みを進めていきたいと答えました。



石川 厚子 議員

のとや繁議員の質疑 東旭川の中山間地認定

能登谷繁議員は16日の大綱質疑に立ち、新たに東旭川地域が中山間地域等直接支払制度の対象になったことを取り上げました。

これまで東鷹栖地域のみが対象とされ、東旭川のペーパン地域なども傾斜地の中で耕作をおこなっているため、地域から認定してほしいと要望があり、日本共産党としても道庁交渉などに取り上げてきた課題です。

能登谷議員は、東旭川地域が認定になるまでの経過や、地域共同の取り組み、



能登谷 繁 議員

今後の課題をただしながら中山間地域の営農支援、農村生活支援をすすめていくよう求めました。

市は、平成16年頃からJA東旭川と共同で北海道に特認基準の新設を申請してきた結果、北海道の特認基準が改正され、東旭川地域に適用された経過などについて答えました。

交付金3,654万8千円の財源は国・北海道・旭川市でそれぞれ3分の1となっている、共同取組として水路・農道等の管理や畦畔の補修などといった農業生産活動等を継続する活動、農業生産活動の継続が困難となった場合に備えた体制構築などの内容が示されました。

現在は北海道の特認地域だが、指定棚田地域の対象となり法定地域となるように申し入れを行っていることも明らかにしました。

小松あきら議員の一般質問 国保 子どもの均等割の軽減を

小松議員は12月議会的一般質問で国保料の負担軽減を求めました。

国保制度の運営が都道府県化になって二年目となりました。市民の五人に一人が国保に加入しています。運営を市町村単位から都道府県に移行した狙いは、自治体が実施してきた国保料の負担軽減策をやめさせることです。軽減策がなくなると医療費の増加がストリートに保険料引き上げにつながります。

そこで国は、都道府県に医療費適正化計画の策定と



小松 あきら 議員

実施を迫り、医療費抑制を同時進行で行う考えです。

小松議員は、現在の国保料が協会けんぽの保険料の二倍になっていることを指摘し、保険料の負担軽減を求めました。特に、18歳未満の子どもの均等割り（人数割り：一人あたり38,600円）の軽減拡大を求めました。子ども均等割り軽減は16年度から導入したものの、都道府県化のもとで旭川市は縮小・廃止の方向を明らかにしています。

小松議員は、他都市では都道府県化のもとで軽減制度を新設していると指摘し、「縮小・廃止ではなく拡充すべき」と質問。西川市長は「子育て世帯の負担軽減は重要」だと述べるとともに「全国の事例も参考に軽減について検討したい」と述べました。

まじま隆英議員の質疑 市立病院、看護師の待遇改善を

まじま隆英議員は補正予算等審査特別委員会で市立旭川病院が提案した夜間看護補助業務委託料について質疑を行いました。この委託料は来年4月から病棟看護師の夜間労働の軽減に向けて看護補助者の配置を行うおうとするものです。

まじま議員は補助者を配置する目的について問いました。市立病院は「補助者を配置することで、診療報酬上の加算が取得できること。また、看護師が本来業務に専念する環境を整え、看護師の業務負担を軽減す



まじま 隆英 議員

る効果を期待している。時間外勤務の縮小や、有給休暇など年休の取得を進め、ストレス軽減など図りたい」と答弁しました。

まじま議員は「年休が消化できないという声が現場であがっている。看護師の業務負担軽減は大きな課題。収益増を図ることも大事。しかし、働き続けられる職場として看護師に対する休日保障など待遇改善が必要ではないか」と指摘しました。

市立病院は「高いスキルを持った看護師確保や育成は必要。病院の安定した運営や医療の質を高めるため、また経営面においても、看護師の処遇改善は重要なことと考えている。看護師にとって、魅力ある、働き甲斐のある職場環境の整備に、今後も努めています」と答弁しました。